

香道体験会

初春

の香りを  
楽しむ

本格的な香木の香りを、初心者の方でも楽しむことができるイベントです。雅な世界を体験してみませんか。今年「三景香」を行います。

令和4年

1月16日(日)

4回のうちからご希望の回をお選び下さい

① 10時～ ② 11時～  
③ 13時～ ④ 14時～

要予約/各回12名

☎(0952)23-4200

◇参加費:1,500円

◇お点前:志野流香道九州松隠会 梶島禅徹先生と佐賀香遊会の皆さん

◇事前予約が必要。参加ご希望の方は、電話(23-4200)・メール等にてお申込み下さい。

◇ラフな服装でのご参加はご遠慮ください。お着物でのご参加は大歓迎です。



徴古館

The Museum CHOKOKAN  
NABESHIMA



# お香とは

仏教とともに中国大陸から日本にもたらされた「香」は、やがて室町時代に「香道」として成立しました。「源氏物語」にちなんだ「源氏香」という遊び方があるように、香道は文学や茶道などの諸芸能と結びつきながら発展します。そして江戸時代には、鍋島家などの大名家にとっても欠くことのできない文化のひとつとなりました。

これにちなみ、徴古館では毎年お正月に、本格的な香木の香りを体験できる「初春の香りを楽しむ」を開催しています。



# 鍋島家とお香

多くの大名家と同様に、江戸時代に36万石を有した大大名のひとつである佐賀藩主鍋島家にも、初代藩主鍋島勝茂公の香炉や香盆、2代藩主鍋島光茂公継室榮正院の香箱、10代藩主鍋島直正公の香谷や夫人の香割道具などといった香道具の数々が伝わっています。

また「雨中の伽」という記録には、9代藩主鍋島齊直公の時代に佐賀藩士香田利兵衛が大坂で志野流の師匠に入門したことが記されています。



## 三景香

今年の組香(志野組香三十組三の八)

香道には、異なる種類の香りを聞き分ける「組香」という遊び方があります。たとえば「源氏香」「四季香」「七夕香」など、文学作品や季節、名所などの風情を取り込み、香りを楽しむものです。徴古館の「初春の香りを楽しむ」では、初春にふさわしい組香を毎年行っており、今年も「三景香」という組香を行います。三景香は「松島」・「橋立」・「厳島」・「舟」の4種類の異なる香りを聞き当てるものです。まず、「松島」・「橋立」・「厳島」の3種類の香りを聞いて、その印象を記憶します(試香)。そのあと、香炉が4回皆さまの席に廻ってきます(出香)。心を落ち着けて香りを聞き、「松島」・「橋立」・「厳島」・「舟」の香りが、どの順番で廻ってきたのか、自分の答えを記紙に書きつけ、最後に答え合わせを行います。舟の浮かぶ日本三景の海辺の情景を思い浮かべながら香りを楽しむ遊びです。



山形に整えた灰の上に「銀葉(ぎんよう)」という薄いプレートが敷かれ、その上にのせた香木がほのかに香ります。佐賀香遊会の方々による美しい所作も見どころです。



香炉が順番に廻ってきます。静かな心で香りに意識を研ぎ澄ませるといふ、非日常の贅沢なひとときです。



香道の歴史や遊び方、香炉の取り扱い方など、梶島禪徹先生(志野流香道九州松隠会)が分かりやすく解説して下さいますので、初心者の方もご遠慮なく。

### ミニ展示のご案内

当日は、特別に鍋島家伝来の香道具をご観覧いただけます

当日、香道体験会場では10代佐賀藩主鍋島直正公の奥方がお持ちになられた香割道具や「源氏香園」など鍋島家に伝わる香道具をご覧いただけます。※ミニ展示のご観覧は香道体験会にご参加の方のみとなります。



村梨子地葵紋散莖唐草蒔絵沈箱箱 江戸時代後期

源氏香園 享保10年(1725年)



### 交通アクセス

無料駐車場あります

- 長崎自動車道 佐賀大和I.C.から、市街方面へ車で約20分
- 佐賀バスセンターから、市営・昭和・祐徳の各バスで「県庁前」または「佐嘉神社」下車
- JR 佐賀駅から、県庁方面へ徒歩約20分

### お問い合わせ

info@nabeshima.or.jp  
http://www.nabeshima.or.jp  
0952-23-4200 (公益財団法人鍋島報効会)



徴古館  
The Museum CHOKOKAN  
NABESHIMA